

まつど未来シナリオ会議 第2回会議の記録

本資料に記載の意見は、原則として会議において参加者が付箋紙に書いた意見をそのまま電子化したものです。そのため、同じ班や同じワークにおいて、異なる意見や矛盾する意見が含まれている場合がありますが、意見の調整などはせずにそのまま掲載しています。

松戸市総合政策部政策推進課
委託先：株式会社スタイリッシュ・アイデア



ワーク① ベースシナリオについての対話

1班

- ▶ 高齢化に伴う若い世代の負担増がある
- ▶ 介護人材のあり方が問われ、外国人介護者、介護ロボットが増加するのではないかと？
- ▶ 介護における制度改革がある
- ▶ 認知症は薬が進歩して進行を止められるようになっていないか？
- ▶ 老老介護・ダブルケアは他人事ではない
- ▶ 高齢者雇用は定年延長につながるのか？
- ▶ この世界では、どこから高齢者と呼ぶのか？70才までは現役になるのでは？
- ▶ データ通信量が増えることで、本当に人間にとって快適な社会になるのか？
- ▶ SDGsとは？誰一人取り残さない、持続可能な開発目標のこと。
- ▶ インフラの老朽化は松戸市にもたくさんある
- ▶ 空き家対策は意外と解決できるのでは？（入居の斡旋、取り壊し費用補助）
- ▶ 生活の利便性を考慮して中心地に住む人が増えるなどして、地域の中で過疎化が起きるか？
- ▶ 固定資産税が上がる
- ▶ タワーマンションのゴーストタウン化が起こるのではないかと？
- ▶ 地方への移住促進など、首都圏への人口集中は止められないのか？
- ▶ ブロック別人口割合について、東北の減少は3.11の影響か？
- ▶ 過疎が進む地域では老老介護が多くなる。孤独死を防ぐ見守り体制が不足している？
- ▶ 関東から地方に移住するパターンが増えるのではないかと？
- ▶ 外国人労働者の増加について、地域でどう受け入れていくか？
- ▶ 2030年時点の生涯未婚率は男性28%、4人に1人以上となっている
- ▶ 日本人の平均初婚年齢は2011年に男性30.7才、女性29.0才となっている
- ▶ 子どもが増えない
- ▶ 教育は望めば大学まで無償で学べる必要があるのでは？

ワーク② ベースシナリオの松戸市への影響

1班

	チャンス	リスク
【A】人にやさしいまち・共生社会・持続可能性	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画により誰もが輝ける 競合から協調的なまちづくりが進む 多様性が認められる バリアフリーの必要性が高まる 働く女性が増える 外国人増により外国人タウンができる 	<ul style="list-style-type: none"> 男女共同参画は男女とも仕事に費やす時間が増えることで、家庭生活に影響を及ぼす可能性がある 一人ひとりの個別ニーズに応えすぎようとすると疲れる 単身世帯の増加等、人のつながりの希薄化が起きる 男女共同参画では、それぞれの家庭の事情を考慮せずに、主張されているイメージに合わせようとすることで、枠にはめられてしまい、結果として負担増につながるのでは？
【B】子育て・教育・文化	<ul style="list-style-type: none"> 育児休業を取りやすくなる 子連れ出勤がしやすくなる 学校にいかなくても勉強ができる 子ども・子育て・教育の支援が増え、保護者の育児生活の負担が減る 待機児童ゼロは魅力がある 松戸市は農業が比較的盛んなので、食育に最適である ビッグデータ活用で教育が充実する 高齢者による子どもの見守り 子どもの数が減ると一人ひとりに質の高い教育が提供できる 	<ul style="list-style-type: none"> 外国人増加は文化の違いによるいじめ問題の深刻化につながらないか心配 共働き世帯の増加により、保護者が子育てにかけられる時間が十分でなくなるのが心配 子育て支援のための財源をどう捻出するか？ 子ども・子育て・教育の支援が増えることで、親と子の直接的な関わりが薄れるのでは？

ワーク② ベースシナリオの松戸市への影響

1班

	チャンス	リスク
【C】いきいきとした暮らし	<ul style="list-style-type: none"> 福祉が進み、誰もが行き届いた心地よさを感じている 地域の特性を活かした介護予防が推進される 時間のある高齢者が子どもの面倒を見る お墓のシェアビジネスができる 大病院が多い 行政の縦割りが市庁舎の建て替えによって解消されることに期待 高齢者産業が活性化する 自助・共助が進む 健康に関する自己管理が進む 高齢者と外国人がサービス業の中心になる バス・電車を利用しやすい 健康寿命を考えると高齢化は問題ではないかもしれない 外国人労働者が増えることで、異文化に触れるチャンスも増える 技術の進歩により介護設備が充実する 介護人材(介護だし/じょし)を増やして、介護行政充実をPRする 	<ul style="list-style-type: none"> 障害者に対する理解はあるが、対応の難しさから様々な支障が生じる 支援されることに慣れ、あたたかさを感じるものが減る。当たり前になってしまう 団地の過疎化が起きる 東京に近いため高齢者が流入しやすい 外国人の高齢化がおきる 大病院・特別養護老人ホームが少なく、高齢化により受け入れ先不足が起きる 高齢者を中心に技術に詳しくない人がキャッシュレス・AIについていけない

ワーク② ベースシナリオの松戸市への影響

1班

	チャンス	リスク
【D】街の魅力や居心地	<ul style="list-style-type: none"> 自動運転により渋滞が減少する 鉄道や高速道路などの交通環境が良い 東京に近いことは魅力である 市庁舎や行政機関の最新化 都市整備が進み、住みやすくなる 空き家をシェアハウスや高齢者施設などの地域のコミュニティの場として活用する 介護のために市内に住む親の近くに住む現役世代が増える 緑が多く、自然と共存できる 	<ul style="list-style-type: none"> テラスモール松戸の開業により、渋滞、近隣商店への影響などが起きる 都市整備により自然が失われる 高齢化に伴い、空き家が増える 耐震の問題から、空き家が活用できない 高齢化により、きめ細やかな移動手段の必要性が増す 異常気象により、河川の氾濫がおこる
【E】地域経済・働き方	<ul style="list-style-type: none"> 女性の活躍のチャンス 技術革新により作業効率が上がる 技術の進化により、どこでも働けることが地域経済の発展につながる 元気な高齢者の活躍が期待できる テラスモールが開業する ラーメンの有名店が多い 	<ul style="list-style-type: none"> 農地が減る 定年引き上げにより、引退したい人まで働かなくてはならない状況になる 住居と産業の共存によるトラブルがおきる 地域産業の空洞化がおきる 労働人口減少による過重労働が起きる
【F】安全・安心・快適な暮らし	<ul style="list-style-type: none"> 防犯カメラが増え、AIも活用することで犯罪が減る 	<ul style="list-style-type: none"> 災害時に高齢の方の多くが避難が難しくなる 外国人流入により治安が悪くならないか心配 外国人増加により、文化の違いが原因でトラブルが増えることが心配 インフラ老朽化による不利益が生じる 気候変動による自然災害が増加する 多様な人々への医療ニーズや言語に対応しなくてはいけなくなる

ワーク④ ベースシナリオを元にしたニーズの検討

1班

切り口	ニーズ
【A】人にやさしいまち・共生社会・持続可能性	<ul style="list-style-type: none"> 外国語を学ぶ機会や外国人と交流する機会を増やす 生産年齢人口を増やす 地域で対話できるファシリテーターを増やす必要がある 地域の人達ともっとまちづくりについて話せる場が欲しい
【B】子育て・教育・文化	<ul style="list-style-type: none"> 大学までの教育を松戸市近隣で受けたい 地元大学との連携 地域活性を題材にしたアクティブ・ラーニングをする 高校生までの医療費助成をしてほしい 時間のある高齢者が子どもの面倒をみれるような場所が必要 松戸市に公民館が1つしかないので増やしてほしい 子どもがのびのびと遊べる場所を増やしてほしい 様々な世代が集まれる場所が欲しい 放課後の子どもの居場所の確保
【C】いきいきとした暮らし	<ul style="list-style-type: none"> 単身高齢者への見守り対策を推進する 孤立している人々への支援をする 高齢者の活躍の場をつくる 年金受給額を維持してほしい 癌や認知症を治す医療の確立 病院・診療所が連携する 子どもや高齢者だけでなく、中間世代を支援する制度や仕組みが必要 介護サービスを気楽に受けられるようにし、介護の負担を減らし、介護離職等を防ぐ 介護人材を増やして、介護行政充実をPRする

ワーク④ ベースシナリオを元にしたニーズの検討

1班

切り口	ニーズ
【D】街の魅力や居心地	<ul style="list-style-type: none"> ・ 近隣の市町村と連携したまちづくりをする ・ 常磐線快速が新松戸駅にも停車するようにする ・ 高齢者や乳児を育てている人が気軽に利用できるように、コミュニティバスを市内全域で走らせて欲しい ・ 新松戸駅前の開発をして欲しい ・ 21世紀の森と広場のさらなる活性化してほしい
【E】地域経済・働き方	<ul style="list-style-type: none"> ・ コンテンツ産業に本気で力を入れる ・ クリエイターのをもっと活かしたまちづくりを！ ・ テレワークの効率的な導入を行う ・ 女性が働きやすくする ・ 職場・自宅の両方で働ける職が増えてほしい ・ 大企業の誘致など職場を近くし、働き手の自由な時間を増やし、同時に税收確保につなげる ・ 働く意思のある者に対する雇用の場を提供する ・ 高齢者の増加をチャンスにビジネスにする ・ 子どもと一緒に過ごす時間を確保できる働き方を企業側に考えて欲しい ・ 既存の農地の保護や農地を増やす
【F】安全・安心・快適な暮らし	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災に対する自助の意識を高める ・ 避難所を充実させると同時に場所・計画・地域の人々が自主的に運営できるような体制づくりをすすめる ・ 空き家の安全対策をする ・ 不審者から子どもが身を守るシステムをつくってほしい

ワーク⑤ 2030年の取り組み

1班

切り口	取り組み
【A】人にやさしいまち・共生社会・持続可能性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域共生社会の実現 ・ 行政機関で多言語対応をする
【B】子育て・教育・文化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの医療費無償化 ・ 高等教育の無償化 ・ お金・仕事などのキャリア教育の充実 ・ 学校配布物を多言語化する ・ 虐待等の不幸な子育てをなくすため、学生の頃から、結婚・子どもを産むということを学ばせていきたい ・ コミュニケーション教育の充実 ・ 体験型の遊びを充実させる ・ 車椅子を使う児童生徒の学びやすい学校にするため、学校のユニバーサルデザインの推進
【C】いきいきとした暮らし	—
【D】街の魅力や居心地	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共交通ネットワークの充実 ・ 子どもが思い切り遊べる公園の整備 ・ 21世紀の森と広場をコスプレ等ができるもっとアートな場所にして活性化する
【E】地域経済・働き方	<ul style="list-style-type: none"> ・ 松戸産の農作物をもっと市内に流通する ・ 温暖化に適応したパイナップルなどのブランド農産物をつくる ・ 松戸での働き口をもっと増やす ・ 子連れ出勤できる職場を増やす

切り口	取り組み
【F】安全・安心・快適な暮らし	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消防 ・ 河川流域の水害対策をする ・ 防災のための貯水池を増やす

ワーク① ベースシナリオについての対話

- ▶ なぜ南関東に人口が集中するのか？若者が地方を出ていくのはなぜか？
- ▶ 医療費・年金といった社会保障はどうなるのか？
- ▶ 社会保障費が増えることで現役世代の負担は大きくなる。未婚や子どもをつくらないことにつながっているのではないか？
- ▶ 高齢化率上昇に伴う影響が大きい、その影響を認識している人が少ないのではないか？
- ▶ 老人ホーム等の施設は多様化している。老人ホームに入居するための個人の貯金が必要ではないか？
- ▶ 公的サービスの高齢化対応が必要になる
- ▶ 認知症が増えているのはなぜか？昔もいたのか？
- ▶ 女性の社会進出のデメリットもある？保育所が足りない、民生委員等地域活動の人手不足
- ▶ 女性の社会進出により女性が仕事と家庭の両立をしなければいけなくなり、負担が増え、心身共に疲労する
- ▶ 心の健康寿命は下がるか？
- ▶ 生きがいや楽しさ、幸福がなくては、長生きしても仕方ない
- ▶ 外国人増加により、ごみの分別の仕方がわからないなどの理由からごみ問題が生じるのでは？
- ▶ 外国人との共生社会が進む
- ▶ 教育はどうなるか？年齢や内容等の自由化、多様化が進むか？
- ▶ 温暖化は進んでいる
- ▶ 温暖化対策はいくらかかるのか？
- ▶ 暑すぎて農産物が腐って出荷できない。かといって、新しいものをつくるノウハウを得るのも大変である。農業の知識を育てるチャンスである。
- ▶ Beyond5G、IoTによるビッグデータ収集が進む
- ▶ AI普及により、既存の職業のうちなくなってしまうものも出てくる
- ▶ 超高速の無線通信が実用化されることで、どのように使われるようになっていくのか？

ワーク② ベースシナリオの松戸市への影響

2班

	チャンス	リスク
【A】人にやさしいまち・共生社会・持続可能性	<ul style="list-style-type: none"> 共働きが増え、男性の育児参画が増える 育児休業が取りやすくなる ダイバーシティが進む やさシティの実現 	<ul style="list-style-type: none"> 多様性が増すことで、文化の違いなどによる混乱などが衝突が生じる可能性がある 多文化により対話の必要性が増す 松戸市内の外国人の国籍は、中国・韓国・ベトナム・フィリピン人が集中おり、多様性が高いとは言えない 人種や性質によって同じ松戸市内でも住む場所が分かれる可能性がある ハード面での費用増加 多文化共生の進展により一人ひとりのニーズが増えすぎる 外国人などに対して習慣の違いなどを理由に家を貸さないようなケースも出てくる 違う文化的な背景などを持つ人が増えることで、いじめ・ヘイトなどが増える可能性がある

ワーク② ベースシナリオの松戸市への影響

2班

	チャンス	リスク
【B】子育て・教育・文化	<ul style="list-style-type: none"> 子育て世代の転入増加 働き方改革で子育てがしやすくなる 高校や大学の無償化が進むことで子どもの教育レベルが上がる AI普及により新しい仕事が増える サブカルチャー(コスプレ・e-スポーツ)による活性化 外国人が増えて語学が学ぶことができ、外国に関する関心が深まる 外国人タウンができる 異文化交流が盛んになる 農業を通じた食育ができる 	<ul style="list-style-type: none"> 外国人の親たちが増えるが、周りとのコミュニケーションが取りにくい 教育格差が広がる 子どもを預ける場所が足りなくなる 公園等子どもが遊ぶ場所が足りない 高等教育にお金がかかる AI化により先生と生徒のコミュニケーション不足になる 社会の変化に教育が対応しきれない 子育て世代を呼び込むことにより、ダブルケアが課題になる

ワーク② ベースシナリオの松戸市への影響

2班

	チャンス	リスク
【C】いきいきとした暮らし	<ul style="list-style-type: none"> • 大小の病院が多く安心できる • 介護分野の施設が増加する • AIなどの技術が発達することで特別養護老人ホームの入所を調整する仕組みが自動化できるようになる • 高齢者の増加により、医療・介護・ユニバーサルデザインが進歩する • 子育てを高齢者が支援するなど元気な高齢者が活躍する。 • 自助・共助が必要になり、コミュニティが再生する • 介護・高齢者・外国人・雇用等ビジネスチャンスになる • 技術の進化により、健康の自己管理ができるようになる • 認知症患者地域で支えて地域の活性化 • 介護だし/じよしのPRが松戸のPRになる 	<ul style="list-style-type: none"> • 支援されることが当たり前になってしまう • キャッシュレスやAI化についていけるか不安 • 単独世帯が増える • 老人ホーム等入所する施設について格差が広がる
【D】街の魅力や居心地	<ul style="list-style-type: none"> • 都市と田舎の両方楽しめる • 駅周辺の開発やテラスモール松戸のオープンによる活性化 • 空き家をPARADISE AIRのように文化芸術のための施設として活用できる • ダブルケア対策として空き家を活用する可能性がある 	<ul style="list-style-type: none"> • テラスモール松戸の開業により渋滞がおきる • 空き家・空きテナントが増える • 都市整備に伴い自然が失われる • 耐震基準により空き家が使えない • 人口が減り、バスの運行本数が減少する • インフラ修繕により水道料金等が値上がりする • 公共施設の閉館の可能性がある

ワーク② ベースシナリオの松戸市への影響

2班

	チャンス	リスク
【E】地域経済・働き方	<ul style="list-style-type: none"> • ICT技術普及で自宅で働ける • 五輪で矢切ネギをPR • 女性の活躍の場が増える • ワークライフバランスを見直す良い機会になる • 働きたい人は働ける • 外国人が住む等、空き家を活用することができる • 外国人増加で多様なお店が増える • 都市近郊を活かした工場等の誘致 • 高齢者向けビジネスのチャンス • 農地があるので定年後の過ごし方の選択肢になる • 働き方改革により、働きやすく子育てしやすい社会になる 	<ul style="list-style-type: none"> • 女性の社会進出により保育所が不足する • 共働きが増えて、昼間、地域に働く世代がいなくなり、その結果、地域にお金が落ちなくなる • 温暖化で夏にネギが作れない • 高齢者の増加により、救急車が足りなくなる • 開発に伴う農地減少
【F】安全・安心・快適な暮らし	<ul style="list-style-type: none"> • 技術進歩により防犯設備等が充実し、結果として犯罪が減少する • 高齢化により安全・安心に関する需要が増加する • 再生エネルギー利用の増加 • 国際交流をととして外国人とも防災時の協力ができるような相互理解を図ることができる 	<ul style="list-style-type: none"> • 外国人の増加、多文化による衝突がおきる • 日中、親が不在の家が増えるため子どもの防犯が心配 • 多文化社会が進むが、生活文化などの違いを正しく理解する機会がなければ、多様な人が身近に住んでいることに不安を感じる人も出てくる可能性がある • 環境変化に伴う自然災害の増加 • 防犯カメラが増え、プライバシーが侵害される • 転入を増やすための治安の確保が必要

ワーク④ ベースシナリオを元にしたニーズの検討

2班

切り口	ニーズ
【A】人にやさしいまち・共生社会・持続可能性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 次世代の負担を少なくする ・ 外国人の流入が多いことをチャンスにするため外国人との共栄戦略をつくる ・ 人が減っても大丈夫な持続可能な制度をつくる
【B】子育て・教育・文化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学生の頃から結婚や子育てについて学ばせてあげて欲しい ・ 学校や生涯学習にて、外国人、子育て、対人関係などのコミュニケーション教育を充実させる ・ 虐待、ネグレクト等の不幸な子育て、離婚を減らしたい ・ 外国人の親向けサポートを増やしてほしい ・ 経済的な事情によらず教育を受けられるように、高校を無償化してほしい ・ 子どもの医療費の無償化 ・ 子どもが近くて安心して遊べる場所が欲しい。思い切り遊べる公園を増やして欲しい ・ 体験型の学びを充実させる ・ 車椅子を使う児童生徒が学べる学校にするなどのユニバーサルデザインの取り組みを進めることで、病気や障害が理由で教育が途切れないようにして欲しい ・ もっと地域全体で子育てをして欲しい ・ 子育てサポートのできるシニア人材を育成し、高齢化をリスクではなくチャンスにしたい
【C】いきいきとした暮らし	<ul style="list-style-type: none"> ・ かかりつけ医がいることを当たり前にする ・ 認知症でも地域で支えるまちにしてほしい
【D】街の魅力や居心地	<ul style="list-style-type: none"> ・ 21世紀の森と広場をコスプレやアートの場所にして活性化させる ・ 公共交通ネットワークを充実させる

ワーク④ ベースシナリオを元にしたニーズの検討

2班

切り口	ニーズ
【E】地域経済・働き方	<ul style="list-style-type: none"> ・ 松戸産の農産物をもっと市内に流通させたい ・ パイナップル等、温暖化に適した新松戸ブランド農産物をつくる ・ 松戸市内での働き口をもっと増やす ・ 若年、早期退職者を減らしたい ・ 労働に関するトラブル防止のスキルが足りないので、小学生の時期から仕事について学ぶ機会をつくって欲しい ・ 子連れ出勤できる職場を増やす
【F】安全・安心・快適な暮らし	<ul style="list-style-type: none"> ・ 河川の水害対策をしてほしい ・ 消防団員を増加させる ・ 学校が主催実施している防災訓練が形骸化しており、なんとかしてほしい

ワーク⑤ 2030年の取り組み

2班

切り口	取り組み
【A】人にやさしいまち・共生社会・持続可能性	<ul style="list-style-type: none">・ 地域で対話できる人を増やすためにファシリテーターを育成する必要がある・ おとな食堂の実施
【B】子育て・教育・文化	<ul style="list-style-type: none">・ 放課後等の子どもの居場所を確保する・ 子どもがのびのびと遊べる場所が少ないため、地域の理解の促進や公共施設、児童館等の充実が必要となる
【C】いきいきとした暮らし	<ul style="list-style-type: none">・ 若年層に対するホットラインをつくる・ 子ども、高齢者の支援は増えているが、中間世代に対する仕組み、制度が必要
【D】街の魅力や居心地	<ul style="list-style-type: none">・ 多様な世代が集まれる場所をつくる・ パークマネジメントの検討をする
【E】地域経済・働き方	<ul style="list-style-type: none">・ クリエイターを活かすために、コンテンツ産業に本気で力を入れる・ 職場を近くするために大企業の誘致を進める・ 働く意思がある人への雇用の場の提供・ テレワークの効果的な導入・ 高齢者の方が増える状況をビジネスチャンスにする
【F】安全・安心・快適な暮らし	<ul style="list-style-type: none">・ 空き家の安全対策をする・ 不審者から身を守るシステムをつくる

ワーク① ベースシナリオについての対話

3班

- ▶ 温暖化により雨量が増えたことにより、それに対応した街づくりや住宅の見直しが必要になる
- ▶ 少子高齢化が進むことで保育所に空きが出て、老人施設が増える
- ▶ 気候がアジア化、南国化する
- ▶ 気候変動による病気の発生
- ▶ 少子化により保育所の需要が減り、数が減少する可能性がある

ワーク② ベースシナリオの松戸市への影響

3班

	チャンス	リスク
【A】人にやさしいまち・共生社会・持続可能性	<ul style="list-style-type: none"> 少子化により子育ての重要性が見直されるため育休が取りやすくなる可能性がある 健康寿命がのびる 働く女性が増え、労働力不足を補う 高齢化が進むことによりバリアフリー施設や設備が整備される 高齢者が働くことで税収が増加する 国際交流の活性化により、相互理解が浸透し、平和になる 行政サービスが増加する 	<ul style="list-style-type: none"> 多様化による衝突がおこる 男女共同参画により、男性、女性ともに負担が増加する 福祉の需要増加による税負担の増加 単身世帯の増加で、人とのつながりが希薄化する
【B】子育て・教育・文化	<ul style="list-style-type: none"> 異文化交流が活性化する コスプレ、e-sportsなどの文化が多様化する プログラミング教育の導入と高度化 AIにより新しい仕事が増加する 小児医療が充実する 	<ul style="list-style-type: none"> ネット社会化により、同類同士のみでの交流になる 異なる文化的背景を持つ人が増加することにより、いじめ等が増加する可能性がある 教育環境づくりのための、教育コストが増加する 公園が不足する

ワーク② ベースシナリオの松戸市への影響

3班

	チャンス	リスク
【C】いきいきとした暮らし	<ul style="list-style-type: none"> 医療技術が進歩する 定年が上がるため、働く高齢者が増加する 医療、介護が充実するなど、誰もが暮らしやすい街づくり 新たな高齢者産業が創設される 時間がある高齢者が孫の面倒を見てくれる 墓不足によるシェア墓ビジネスが発展する 	<ul style="list-style-type: none"> 少子高齢化が進むことでボランティアなどの担い手が減ることで、取り組みへの参加の強制力が強まる可能性がある 高齢化がさらに進む 老人ホームの入所費用による格差 団地が過疎化する 文化の違いによる生活の違いが大きくなる 外国人の高齢化に伴い、何かしらのリスクが発生する 都市圏からの高齢者や障がい者の流入による施設不足 特養が不足する
【D】街の魅力や居心地	<ul style="list-style-type: none"> 技術進化により交通アクセス手段が増加する可能性がある 公共交通機関が充実している 市街地と自然のバランスが保たれる 再開発によるバリアフリー化 待機児童がゼロになる 外国人が増加し、外国人に街の魅力を発信してもらえる 自動運転技術の発展による渋滞緩和 	<ul style="list-style-type: none"> 交通アクセス手段の増加による、環境の悪化 気候変動の影響により、大雨が降り、河川が氾濫する 空き家の活用が必要になる 地価の高騰により、事務所や工場の移転が必要になる

ワーク② ベースシナリオの松戸市への影響

3班

	チャンス	リスク
【E】地域経済・働き方	<ul style="list-style-type: none"> 外国人が増加し、労働人口不足をカバーできるようになる 雇用の創出や雇用の多様化 都市圏近郊を活かした工場などの誘致 外国語学校が増加する 都内に近いことで外国人が来るチャンスとなる 都内に近いことで最新技術が入れやすくなる 	<ul style="list-style-type: none"> 住宅地開発に伴う農地の減少 専業主婦が減少し、地域活動が衰退する AIの発達により現在人が対応していた仕事が増える可能性がある
【F】安全・安心・快適な暮らし	<ul style="list-style-type: none"> 高度な防犯カメラが整備され犯罪が減少する 	<ul style="list-style-type: none"> 監視社会が進み、プライバシーが減少する 文化理解が進まずに、治安が悪化することが懸念される 文化の違いにより、外国人住民との間でごみ分別問題が発生することが懸念される 高齢化が進み、空き家が増加することで犯罪が増加する 外国人が増加することで、犯罪が増加することが心配

ワーク④ ベースシナリオを元にしたニーズの検討

3班

切り口	ニーズ
【A】人にやさしいまち・共生社会・持続可能性	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者や外国人にも対応した地域コミュニケーションの充実 隣人と仲良くするなど、町会、自治会に参加しやすい環境づくり
【B】子育て・教育・文化	<ul style="list-style-type: none"> 兄弟が同一の保育所に入れるようにする 5月以降の待機児童の解消 駅前保育施設の充実 いじめの撲滅 都内に近いので外国人が訪れやすくする
【C】いきいきとした暮らし	<ul style="list-style-type: none"> 都内に近いので最新技術を導入しやすい 介護(福祉)タクシーなどによる高齢者の移動サポート 配食サービスの増加による単身世帯の見守り体制の強化 空き家を市が管理するようにして、安く借りられるようにする 在宅医療の充実高齢者が働いたり、楽しめる居場所の拡充
【D】街の魅力や居心地	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者などにも住みやすい高機能マンションを増やす 桜並木を維持する 老人のスポーツ場と子どもの公園の住み分け 道路の拡幅
【E】地域経済・働き方	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者などさまざまな立場の人が働く場所の創出など、働きやすいまちづくりによる経済活性化
【F】安心・安全・快適な暮らし	<ul style="list-style-type: none"> 歩道の段差を解消するなどのバリアフリー化 交通事故ゼロの環境づくり 雨水タンクコンポストや太陽光発電の利用増加

ワーク⑤ 2030年の取り組み

3班

切り口	取り組み
【A】人にやさしいまち・共生社会・持続可能性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民の語学力を強化する ・ ポケトークなどを普及させる ・ いじめを撲滅する ・ 高齢者、外国人含め地域コミュニケーションを充実させる ・ 隣人と仲良く、町会・自治会に参加しやすくする
【B】子育て・教育・文化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 5月以降の待機児童を解消させる ・ 駅前保育施設を充実させる ・ 兄弟姉妹を同一の保育施設に入れるようにする
【C】いきいきとした暮らし	<ul style="list-style-type: none"> ・ 仕事・楽しみ共に高齢者の居場所を多くする ・ 在宅医療を充実させる ・ 介護タクシーなどで高齢者の移動をサポートする ・ 配食サービス増加により単身世帯の見守り体制を整える ・ 老人のスポーツ場と子どもの公園を棲み分ける ・ 市が空き家を管理し安く貸せるようにする
【D】街の魅力や居心地	<ul style="list-style-type: none"> ・ 道路幅を拡張する ・ ごみ分別をしやすくする ・ 雨水タンク、コンポスト、太陽光発電の利用を増やす ・ 高齢者などが住みやすい高機能マンションを増やす ・ 交通事故ゼロを目指す ・ 桜並木を維持する

ワーク⑤ 2030年の取り組み

3班

切り口	取り組み
【E】地域経済・働き方	—
【F】安全・安心・快適な暮らし	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歩道の段差解消、バリアフリー化を進める

ワーク① ベースシナリオについての対話

4班

- ▶ 生涯未婚率が今後も増加するかどうか
- ▶ 生涯未婚率は男性28%、女性18.5%という数値から、ますます少子化が進む
- ▶ 現役世代にかかる負担が増加することが、消費、結婚、出産に影響を与え、ますます少子化が進む
- ▶ 人口が一部の地域に集中することにより、空洞化する地域が出てくる
- ▶ 少子化の解決策は一夫多妻制か
- ▶ 高齢者が住みづらくなってしまい、肩身の狭い思いをするのでは
- ▶ 都会の方が便利だから、高齢者にとって暮らしやすい
- ▶ 後期高齢者が増加により、介護の不安が大きくなる
- ▶ 介護と子育てのダブルケアは両立できるのか
- ▶ ダブルケアは誰が担うのか、ロボットか、外国人か
- ▶ ロボットやAIなどの技術が普及し、ダブルケアなどをしている人が家で働けるようになれば良い
- ▶ 単独世帯の増加が心配
- ▶ 単独世帯の増加は、社会構造の変化として仕方のない現象
- ▶ 自動運転技術がどこまで進むのか
- ▶ 空き家の増加や、インフラの老朽化により生活ゾーンという概念が崩壊するのでは
- ▶ インフラの老朽化による再開発で、ユニバーサルデザインが進むと良い
- ▶ 様々なデータをAIが分析し、食品ロスなどの無駄がなくなる
- ▶ 社会保障費の配分が年金や介護に偏っているが、子どもへの社会保障は今後どうなるのか？
- ▶ 世帯という概念がどうなるのか？ 同姓カップルなど結婚していない人も子育てのための金銭的な補助や支援が受けられるようになるか？
- ▶ 気候環境の変化により、省エネも推進する

ワーク② ベースシナリオの松戸市への影響

4班

	チャンス	リスク
【A】人にやさしいまち・共生社会・持続可能性	<ul style="list-style-type: none"> • 子どもや子育てに対する施策が充実する • 健康寿命が延び、働き手が増加する • 外国人市民が増加する • 異文化共生や多文化共生が進む • 認知症患者が増加し、理解が進むことで、認知症患者と他の住民とのつながりが強くなる 	<ul style="list-style-type: none"> • 少子化により、子ども同士のコミュニティが減少する • 外国人の増加により、生活習慣の違いが問題になる • 自治会や商店街をはじめとする地域のつながりが希薄化する • 福祉に財源の配分が偏ることで、新規事業に予算が回らなくなり、財政が硬直化する • 個別支援が手厚くなることで、支援者が疲弊する • インフラ費用の増加 • 外国人など文化的背景の違いによる対立が発生する • 高齢化で地域の助け合いが減ったり、地域のおまつりなどの担い手が減少する

ワーク② ベースシナリオの松戸市への影響

4班

	チャンス	リスク
【B】子育て・教育・文化	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者に子どもの面倒を見てもらえるようになる AIやデータ分析の向上により、各個人にあった教育コンテンツを提供するなどして生徒の学力が向上する 文化の多様性が広がる 国際交流が増加する 外国人タウンが増加する コスプレ、e-sportsなど、松戸ならではのサブカルチャーが拡大する 語学への関心が高まる 教育スタイルやカルチャーの多様化に対し、高齢者を活用する。さらに、市内大学などと協力をして、松戸独自の教育を導入できないか 待機児童をゼロをPRすることで、魅力度が上がる 	<ul style="list-style-type: none"> 少子化が進む 外国人の増加により、言葉が通ないことが教育にリスクを与える 外国人の増加により、外国人の子供への対応が発生する 子どもにかけられる予算が減少する AIの普及により、リアルなコミュニケーションが減少する 学歴社会が続く 公園難民が増加する

ワーク② ベースシナリオの松戸市への影響

4班

	チャンス	リスク
【C】いきいきとした暮らし	<ul style="list-style-type: none"> ウェアラブル端末などIT機器でのヘルスケアの管理が進む 遠隔診察、処方が進むことで、病院を受診しなくても薬がドローンで届く 高齢者が子どもの面倒を見てくれる 障がい者雇用の理解が進む 介護分野の雇用が増加する 技術進化により交通の便が良くなることで、どのような人でも外出しやすくなる 福祉が充実し、住みやすい街になる 墓地が不足して、シェア墓ビジネスが活性化 	<ul style="list-style-type: none"> 少子高齢化が進み、単独世帯が増加する 千葉県の後期高齢者率が増加することで、介護負担が増え、介護分野の人手が必要になる 多死社会化により、独居世帯の見守りの必要性が増える 介護保険の要支援者がなくなるなど、介護保険崩壊をうけてどのように変わるか 介護施設ビジネスの増加により、施設の質の低下や、ロボットへの代替が進むか 介護施設がパンクして、入居できなくなり、老々介護が増加する やってもらうことが当たり前という風習になる 外国人の高齢化が進む

ワーク② ベースシナリオの松戸市への影響

4班

	チャンス	リスク
【D】街の魅力や居心地	<ul style="list-style-type: none"> 南関東への人口集中により、住宅需要が増え、地価が高騰する 自動運転の普及により、渋滞が緩和される 開発により、ユニバーサルデザイン化が進み、住みやすくなる 開発により、コンパクトシティ化が進む 今も公園が多いが、空き地を公園にしたり、緑を増やすことで、環境が良くなる 駅が多く高速道路もあり住みやすい 空き家を活用できる 松戸市に流入してきた松戸市民以外の視点による魅力の再発見と発信 産学官が連携し、遊休地や公有地が活用される 空き家の活用により、芸術文化などが進む可能性がある 	<ul style="list-style-type: none"> 松戸の交通網が発達し、住みやすくなると高齢者の流入が増加するが、扶助費も増加する 空き家が増加する 財源を回せないため、細やかなバリアフリーの対応が未解決のまま 松戸市は古い街なので、自動運転への対応を街としておこなうは厳しいのでは ショッピングモール開業に伴う混雑対策が必要 外国人の増加により、生活様式の違いに起因するトラブルが増える可能性がある 公共施設が老朽化する 気候変動により河川の氾濫が増える

ワーク② ベースシナリオの松戸市への影響

4班

	チャンス	リスク
【E】地域経済・働き方	<ul style="list-style-type: none"> 外国人の増加により、市民税が増収する スマートシティ化が進み、街の機能のIT化が進むことで電子決済が進む 後期高齢者の人口が増加し、消費が増える 高齢者雇用を積極的に進めることで、労働力向上が見込まれる 空き家を住居ではなく事業用に転用することでオフィス貸し出しや空き家を活用した出店が増加する AIの発展により企業における自動化、効率化が進み、経済が発展する 外国人の増加により、多様なお店や会社が増える コンテンツ産業の隆盛による活性化 都市圏近郊を生かした工場などの誘致 	<ul style="list-style-type: none"> 工場のAI化が進み、雇用が減少する 介護など、社会保障の負担が増加し、可処分所得が減る 少子高齢化により農業の担い手が減少する 後継者不足による空店舗の増加
【F】安全・安心・快適な暮らし	<ul style="list-style-type: none"> 技術進化やネットリテラシーの進化により、セキュリティが重視される 防犯カメラの増加により、犯罪が減少する ベテランの目を持つ高齢者が地域の安全を見守るなど、雇用の要素がある 孤独死を、AIで防げるようになる 家電デバイスのAI活用やIoT化が進むと、消防の緊急要請が減少する AIなどの技術を活用した災害対策が進む 	<ul style="list-style-type: none"> 公共インフラの老朽化 空き家が増加することで、税収も減り、治安が悪化する 空き家の増加により家賃が低下し、街がスラム化する 防犯カメラが増え、プライバシーが侵害される

ワーク④ ベースシナリオを元にしたニーズの検討

4班

切り口	ニーズ
【A】人にやさしいまち・共生社会・持続可能性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 行政サービスの電子化 ・ スマホで投票ができる ・ 歩くのが楽しい街に ・ 年齢を重ねても働けるようになっていて欲しい ・ ユニバーサルデザインによってつくられている施設が増えてほしい
【B】子育て・教育・文化	<ul style="list-style-type: none"> ・ ベトナムタウンなどの、外国人街ができていると良い ・ 多文化社会が進むので、文化生活の違いを認め合うことが広まれば良い
【C】いきいきとした暮らし	<ul style="list-style-type: none"> ・ 遠隔介護が進歩してほしい ・ 高齢者でも安全に車で出かけられる社会にしてほしい ・ 豊かな暮らしと働き方 ・ 健康寿命が延び、元気で長く働けるようになりたい ・ 高齢者や外国人、子どもが共生してまちのお祭りをを行う
【D】街の魅力や居心地	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外国人、単身者、高齢者の増加や、働く場や空き家対策などの問題を解決できるよう、様々な飲食店が増加して欲しい ・ 公園が充実した街 ・ コワーキングオフィスやカフェなど公共施設の利活用 ・ 出店したい人がお試して店舗出店できる機会 ・ おしゃれな空き家カフェが多くなり、のんびりできる街になって欲しい ・ 空き家を文化や芸術活動に生かして盛り上げていけたら良い ・ 市外の人から見て、魅力的な松戸になって欲しい

ワーク④ ベースシナリオを元にしたニーズの検討

4班

切り口	ニーズ
【E】地域経済・働き方	<ul style="list-style-type: none"> ・ 後継者に困らない商店 ・ 公共インフラの質の向上 ・ 松戸、新松戸、東松戸のワーキングスペースの充実 ・ AIに仕事を奪われないようにして欲しい ・ 家で介護しても、働けるようになって欲しい
【F】安心・安全・快適な暮らし	<ul style="list-style-type: none"> ・ 何かあってもAIが探知して、自動で救急車が来るように ・ 防災の視点で地域の防災力の向上 ・ 災害時の避難場所の確保、充実

ワーク⑤ 2030年の取り組み

4班

切り口	取り組み
【A】人にやさしいまち・共生社会・持続可能性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 時間帯やサービスなど行財政運営の見直し ・ 高齢者などの市民が地域ボランティアに参加することで、協働を実現し、市の財政コスト削減につなげる ・ イベントなどの機会外国人の受け入れを積極的に行う ・ 地域のつながりづくりの場をつくり、そこでは外国人も積極的に受け入れる ・ 古民家などの空き家スペースを活用する ・ 町会、消防、自治体などの地域連携を強める
【B】子育て・教育・文化	<ul style="list-style-type: none"> ・ Society5.0を迎える社会を生き抜くために、学力の底上げに取り組む ・ 多文化共生に作用するように、言語活用科の推進を強化する ・ 学校教育の場や講演会などの場で、LGBTの意識啓発をする ・ 子育てに関する情報を見つけやすくする
【C】いきいきとした暮らし	<ul style="list-style-type: none"> ・ 同じニーズに対して他分野でバラバラに対応しているので、協働してヘルスプロモーションを横展開をする ・ 介護、子育て、ダブルケアなどによる離職問題に対応する ・ 障がい者や認知症患者を受け入れる店、場であるという意思をアウトプットとして出す(シールを貼るなど)
【D】街の魅力や居心地	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公園の修繕・改修計画の財源を確保する ・ 中心市街地の計画をしっかりと立てる ・ 空き家を芸術家などに貸し出す仕組みをつくる ・ 松戸市で出店する人への支援をする

ワーク⑤ 2030年の取り組み

4班

切り口	取り組み
【E】地域経済・働き方	<ul style="list-style-type: none"> ・ 若手経営者の横のつながりをさらに強化する ・ 健康寿命の延びと高齢者雇用の増加に対応するために、健康診断の実施を促進する ・ 空き物件を補助するなど、使用する工夫をこらす ・ 若手農業従事者の活躍を情報発信する ・ 企業誘致のために街(松戸市)としてのテーマを策定する
【F】安全・安心・快適な暮らし	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災、防犯対策のために、地域のネットワークを強化する ・ 高齢者を見守る手段を普及させると同時に、それが確実に機能するよう、実行力も強化する

ワーク① ベースシナリオについての対話

5班

- ▶ 総人口の30%が南関東に集中
- ▶ 高齢化と認知症の増加で介護施設が圧迫され、自宅での介護が必要となり働くことができない人が増えるかも
- ▶ インフラ老朽化による使用料金の増額、市民への負担増加
- ▶ 気温の上昇など地球環境の変化による作物不足、雨不足
- ▶ 空き家の増加による不法投棄の増加
- ▶ お先真っ暗ではない。人口は減るがそれを補う技術は発達するので新しい可能性が見出せるのではないか
- ▶ ボランティアではなく、謝礼は出せるくらいの仕事、役割など、高齢者の活躍の場を整える必要性がある

ワーク② ベースシナリオの松戸市への影響

5班

	チャンス	リスク
【A】人にやさしいまち・共生社会・持続可能性	<ul style="list-style-type: none"> • 外国人に優しいまちであることをアピールし、東京から人を呼び込む • 認知症の人をみんなで支えることで地域の繋がりができる • お年寄り子どもたちが触れ合う機会を作り出す • 子育ての支援が手厚く女性が働きやすい環境が整う • 外国人増加による外国人街の魅力の発信 • 外国人の増加により国際交流が盛んとなり、街の多様性が魅力となる 	<ul style="list-style-type: none"> • 福祉事業にお金回りすぎて他が手薄になる • 単身世帯の増加により人間関係が希薄になる
【B】子育て・教育・文化	<ul style="list-style-type: none"> • 外国人の増加で国際交流が自然にできるようになる • 外国の文化に触れる機会が増える • 外国人増加により語学に関心が深まる • 少子化による学習支援の充実、質の向上 	<ul style="list-style-type: none"> • いじめ問題の深刻化
【C】いきいきとした暮らし	<ul style="list-style-type: none"> • 高齢化がユニバーサルデザインを推し進める • AIの発展により老人ホーム入所の効率化が図られる • ドローンで配薬、ウェアラブルで健康管理などが進んで医療サービスが便利になる • 病院が多く医療ニーズに応えやすい 	<ul style="list-style-type: none"> • 団地の過疎化 • 東京から要介護の高齢者が流入する • 老々介護の増加 • AI化についていけない人の増加 • 外国人の高齢者増加に対して設備や仕組みが追いつかない

ワーク② ベースシナリオの松戸市への影響

5班

	チャンス	リスク
【D】街の魅力や居心地	<ul style="list-style-type: none"> 建物の更新による新しい街並みの整備 人口減少でコンパクトシティ化 ユニバーサルデザイン化で住みやすい街になる 緑が多く、東京への近さがますます強みになっている 住宅地需要が増加し、松戸市の地価が上がる 	<ul style="list-style-type: none"> 後継者が不足し、森林等の管理が手薄になる 河川の氾濫 自動運転の普及に遅れをとっている ショッピングモール開業に伴う交通の混雑 地価が上がリ、事務所移転の増加 空き家店舗の増加
【E】地域経済・働き方	<ul style="list-style-type: none"> 外国人の増加で様々な店が増える 農地が多いので、定年後の職種選択肢としての農業の可能性 	<ul style="list-style-type: none"> 商店街の衰退
【F】安全・安心・快適な暮らし	<ul style="list-style-type: none"> 再生エネルギー利用の増加 防犯カメラの高度化による犯罪減 省エネ性能を持った環境に優しい家づくりが進んでいる 消防団など地域防災がしっかりしている 	<ul style="list-style-type: none"> 日本語がわからない外国人の増加によるごみ分別問題 空き家の増加に伴い、防犯・防災に対する負担が増加 空き家の増加による街のスラム化 高齢者が多いので、災害の際の避難が難しい 高齢者の増加で救急の受け入れが難しい 日本人コミュニティと外国人のコミュニティの分断

ワーク④ ベースシナリオを元にしたニーズの検討

5班

切り口	ニーズ
【A】人にやさしいまち・共生社会・持続可能性	<ul style="list-style-type: none"> 様々な国の外国人の相談窓口となる「ミニ大使館」 外国人や高齢者などを気にかけてくれる人、相談ができる人が欲しい
【B】子育て・教育・文化	<ul style="list-style-type: none"> 子ども全ての年代の教育の無償化
【C】いきいきとした暮らし	<ul style="list-style-type: none"> 元気な高齢者が増えるための施策や機会の提供 近所のコミュニティの充実、横の関係づくり
【D】街の魅力や居心地	<ul style="list-style-type: none"> 空き家を持って余している人とそれを使いたい人とのマッチング(コンシェルジュ)
【E】地域経済・働き方	—
【F】安心・安全・快適な暮らし	—

ワーク⑤ 2030年の取り組み

5班

切り口	取り組み
【A】人にやさしいまち・共生社会・持続可能性	<ul style="list-style-type: none"> 看板やメニューの多言語化 外国人が日本語を学ぶ機会の提供、お互いの文化共有の機会
【B】子育て・教育・文化	<ul style="list-style-type: none"> 異文化及び様々な状況の人が集まれる場所づくり それぞれの人の違いを魅力にできる仕掛けづくり 給食の無償化、食材を受け入れる仕組みづくり お母さんお父さんが、好きな時間に子供を連れて行って遊ばせたり相談できる場所づくり
【C】いきいきとした暮らし	<ul style="list-style-type: none"> 空き家の情報を整理し、1人暮らしの人が物件を見つけられる仕組みを整える 高齢者活躍の場の創設 独居高齢者を把握できる仕組み 老後、終末の暮らしを選択できる場づくりを進める 成年後見人になれる人の育成 空き家を利用した簡易的なリハビリ施設をつくる 高齢者のための人材センター設立
【D】街の魅力や居心地	<ul style="list-style-type: none"> 空き家の登録、遺贈や破棄ができる仕組みを整える 空き家の所有者と買手を繋げる空き家バンクの仕組み 様々な人、物、状況をマッチングできる人の育成
【E】地域経済・働き方	<ul style="list-style-type: none"> 空き家を持て余している人とそれを使いたい人とのマッチングを進めるコンシェルジュビジネスを行う
【F】安全・安心・快適な暮らし	<ul style="list-style-type: none"> 町内会を担う人の確保と行政等の制度づくり

ワーク① ベースシナリオについての対話

6班

- ▶ 高齢者の5人に1人が認知症
- ▶ 単独世帯数37.9%
- ▶ 生涯未婚率 男性28.0% 女性18.5%
- ▶ 社会保険料の増加
- ▶ 生産年齢人口の減少
- ▶ 高齢化が進み、老老介護やダブルケアの課題が目立つ
- ▶ まだ介護のイメージがつかないが、介護に対する備えが必要
- ▶ 千葉県は2015年と比べて後期高齢者が59.2%増加
- ▶ 外国人労働者はどのくらい増加していくのだろうか
- ▶ 定年延長は何歳までになるのか
- ▶ 定年延長などによる高齢者雇用の増加
- ▶ インフラ老朽化に対する懸念
- ▶ 技術の進化による人と人とのコミュニケーションの希薄化

ワーク② ベースシナリオの松戸市への影響

6班

	チャンス	リスク
【A】人によさ しいまち・共生 社会・持続可 能性	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者や子どもの見守りに地域の人も参加できるようにする 外国人が増えると地域での生活の仕方などの多様化が進む 健康寿命が延びると働ける人が増える やさシティの実現 空き家活用で人によさしい街づくり 	<ul style="list-style-type: none"> 外国人労働者の増加による治安の悪化が心配 一人ひとりのニーズに応えすぎることによる負担の増加 インフラ費用がかかる
【B】子育て・ 教育・文化	<ul style="list-style-type: none"> 多文化交流が増える 松戸市は子育てに力を入れているので、生産年齢人口の減り幅が少ないのでは 子どもが少なくなると、教育において、一人ひとりにかける時間が増加し、教育の質も向上 テラスモール松戸の開業 農業が盛んなので食育を進めやすい テレワークが進み、親が子どもといる時間が増える 多様な働き方・育て方の一つとして、子どもを職場に連れていけるようになる 育児休暇が取りやすくなる 	<ul style="list-style-type: none"> AIの導入コスト増加 インターネット上で利用できるサービスが進み、その利用頻度が増えると利用者と趣向が合う人だけと関わるリスク増加 共働きによって、親と子どもとの関わりが薄れる 外国人増加により文化の違いによるいじめ問題が起こるのが心配

ワーク② ベースシナリオの松戸市への影響

6班

	チャンス	リスク
【C】いきいきと した暮らし	<ul style="list-style-type: none"> 長く働くことによって、イキイキした生活を送れるようになり、医療費を減少させられる 病院の多さを活かして、医療都市にできる 最期に住むのも松戸市になる 高齢者が社会的身分をもつことで生活にやりがいが出る お墓をシェアするビジネスのチャンス 充実した小児医療の実現 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者人口が増加し、要介護者が増加することで、施設の入居費用が増加 団地の過疎化 外国人増加によるコミュニティの分断
【D】街の魅力 や居心地	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設が再編され、魅力ある場所に生まれ変わる 空き家を活用して安く住める環境を整備できる テラスモール松戸のオープンにより、商業施設が活性化する 有名ラーメン店を街の活性化に活用 ダブルケアと空き家活用が進むことで、介護のために現役世代が両親と住むようになる 	<ul style="list-style-type: none"> 東京都への人口流出 公共施設の閉館の可能性 水道料金が水道施設の老朽化により高くなる 空き家の増加 自然が失われていく 技術進化などにより、東京近郊と郊外の利便性の差がなくなり、魅力がなくなる 人口減によりバス便が減る 高齢化によりこれまでなら徒歩で移動していたようなところにも移動手段を用意しなければならない

ワーク② ベースシナリオの松戸市への影響

6班

	チャンス	リスク
【E】地域経済・働き方	<ul style="list-style-type: none"> 外国人が増えると税収が増える コンテンツ産業の充実 コミックマーケットへの初出展は松戸 コスプレの街 五輪で松戸の農産物をアピール 働く女性が増加すると労働力も増加する 	<ul style="list-style-type: none"> 働き過ぎによる過労の増加 テラスモール松戸のオープンにより、渋滞、治安悪化、近隣商店街の空きテナント増加が心配
【F】安全・安心・快適な暮らし		<ul style="list-style-type: none"> 文化の違いによるごみ分別問題 空き家増加による犯罪の増加 防犯カメラ設置によるプライバシーの侵害 多様な文化的背景を持つ人が増えることが心配

ワーク④ ベースシナリオを元にしたニーズの検討

6班

切り口	ニーズ
【A】人にやさしいまち・共生社会・持続可能性	<ul style="list-style-type: none"> 町会と民間団体の協働を推進してほしい
【B】子育て・教育・文化	<ul style="list-style-type: none"> 子どもを職場に連れていけるようになってほしい 外国語教育を充実させてほしい 公園の整備をしてほしい
【C】いきいきとした暮らし	<ul style="list-style-type: none"> 行政ワンストップ窓口を新設してほしい 特別養護老人ホームなどの施設を整備してほしい
【D】街の魅力や居心地	<ul style="list-style-type: none"> 新駅が出来てほしい 自然を残してほしい 江戸川などの河川を魅力的に整備して、松戸に人を増やしたい 空き家の整備を行ってほしい
【E】地域経済・働き方	—
【F】安心・安全・快適な暮らし	<ul style="list-style-type: none"> 空き家への入居を促進して犯罪を防いでほしい 多様な文化的背景を持つ人が増えることによる不安に対処するための防犯カメラを増やしてほしい

ワーク⑤ 2030年の取り組み

6班

切り口	取り組み
【A】人によさしいまち・共生社会・持続可能性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 町会と民間団体の協働の推進 ・ 子どもを職場に連れていけるような仕組みを作る
【B】子育て・教育・文化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新たな公園の整備 ・ 日本語学校と市が連携して、ホームステイや体験などを企画する ・ 複数人子どもがいる家庭に補助金を出す
【C】いきいきとした暮らし	<ul style="list-style-type: none"> ・ ワンストップ窓口の新設 ・ 特別養護老人ホームなどの施設の整備
【D】街の魅力や居心地	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新駅をつくる ・ 空き家の整備を進める ・ 空き家をシェアハウスにして、若い人や世界からのアーティストに住んでもらう街を作り、人を松戸に呼び込む
【E】地域経済・働き方	—
【F】安全・安心・快適な暮らし	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空き家への入居で犯罪を防ぐ

ワーク① ベースシナリオについての対話

7班

- ▶ 全体的に悪いイメージ
- ▶ あえて人口を減らして減縮型の社会を目指すという可能性も考えられる世界
- ▶ 少子高齢化が進み、自分たち若い世代の負担が増えていそう
- ▶ 社会保障の増大、現役世代の負担増
- ▶ 税収の減少とインフラ老朽化などで市の財政が心配
- ▶ 少子化は人口減に直結するから問題だと思う
- ▶ スクラップビルドから長寿命化へ
- ▶ “世界でも類を見ない”高齢先進国になればいいな
- ▶ 高齢化が進んでも元気な人は働けるから影響ないのでは？
- ▶ 生涯未婚率 男28.0%女18.5%、さら更に少子化
- ▶ ダブルケアが大変そう
- ▶ 少子化なのにダブルケア増
- ▶ ダブルケアは考えるのもいやになるくらい大変そう
- ▶ 現役世代の社会保障負担増が不安。自分たちの頃にリターン少ない？
- ▶ 町医者は増加するのか？在宅医療が進む？
- ▶ Beyond5Gが普及すると、すべてのデータを高速でやり取りできるようになる
- ▶ 南関東に人口が集中するにもかかわらず空き家が増えるというのはどういうことか？
- ▶ 介護の負担が増えることを技術進化でカバーできないか？
- ▶ 労働力不足を対応しなければいけない仕事の量のコントロールで対処できないか？

ワーク② ベースシナリオの松戸市への影響

7班

	チャンス	リスク
【A】人にやさしいまち・共生社会・持続可能性	<ul style="list-style-type: none"> 外国人にやさしい街をアピールすることで都内へ働く外国人労働者を呼び込める 外国人受け入れの仕組みを作ってまちづくりの基礎にできる 元気な高齢者が働き続けることで税収が増加する 	<ul style="list-style-type: none"> 老朽化したインフラの更新が必要になり行財政運営を圧迫する
【B】子育て・教育・文化	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの数が減ることで、一人ひとりに質の高い教育ができる テレワーク利用者の増加で子育てしやすい働き方が選べる 引き続き待機児童ゼロ達成を実現する 農業が盛んなので食育に活かせる グローバル化に伴い思考が世界に向く 外国人との交流が進む 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもにかかる社会保障の負担大 AI化、グローバル化が進む一方、教育を受ける環境の差で格差ができる？

ワーク② ベースシナリオの松戸市への影響

7班

	チャンス	リスク
【C】いきいきとした暮らし	<ul style="list-style-type: none"> 大病院を活用した高齢者向けのケア 元気な高齢者に働いてもらえる仕組みを作る 介護施設の増加 人口減になれば雇用機会を増やせるのでは？ 労働力不足の対応として高齢者と外国人が接客する街 都心部に近いので、ある程度若者を確保できる街に 南関東に位置するため全国に比べて人口減少は少ない 人口が減らないので、医療の水準は確保できそう 墓が足りないのでお墓をシェアする 単純作業は機械化され、それ以外の人しかできない仕事にやりがい、生きがいを感じられる 高齢者向け健康サービスがもっと増える 高齢化は問題でない 	<ul style="list-style-type: none"> 社会保障費が増大することで、個人の可処分所得が減少する 技術進化により、これまでの仕事が技術に置き換わることで職を失う人がいる 店舗、各種受付などの業務が技術によって自動化されることで人がいらなくなる 都心や近隣自治体からの流入で各施設のパンク

ワーク② ベースシナリオの松戸市への影響

7班

	チャンス	リスク
【D】街の魅力や居心地	<ul style="list-style-type: none"> コンパクトシティの実現の可能が高まる 人口が減って空き地が増えることに伴い、緑や遊び場が増える 現役世代が介護のために市内に住む親の近くに住むかもしれない 自然との共生の推進が進む バリアフリー整備が進む 	<ul style="list-style-type: none"> インフラが老朽化する さらなる都市化整備で自然が失われる
【E】地域経済・働き方	<ul style="list-style-type: none"> テレワークで空き家活用がすすむ スマートシティ化されていくことにより電子決済、テレワーク推進 外国人に空き家を提供し労働力確保 休耕農地を高齢者に貸すことで、リタイア後の職業選択肢が増える 	<ul style="list-style-type: none"> リスクがゼロと考えていることがリスク 産業の空洞化 工場がAI化して雇用減 農地の減少 商店街の店が閉店する 事業の後継者が不足する
【F】安全・安心・快適な暮らし	<ul style="list-style-type: none"> 技術の進歩で犯罪が減る 防犯カメラの普及による犯罪の減少 東京に近いため最新の技術進化の恩恵を他地域よりも早めに受けることができる 	<ul style="list-style-type: none"> 技術が進歩することでサイバー犯罪が増加する 防犯カメラの普及によりプライバシーが失われる

ワーク④ ベースシナリオを元にしたニーズの検討

7班

切り口	ニーズ
【A】人にやさしいまち・共生社会・持続可能性	<ul style="list-style-type: none"> 市の施設などのバリアフリー化を進める 外国人とお互いに理解を深めるためのセミナー開催 外国人が住みやすいよう、外言語化やさまざまなサポート 外国人との文化的交流、隣近所的な関係づくり 外国人が孤立せず地域社会に溶け込んでいる
【B】子育て・教育・文化	<ul style="list-style-type: none"> 子育てを重視する文化の街にする 緑が多い公園を多く整備 少子化対策として子どもを育てたいと思える環境整備
【C】いきいきとした暮らし	<ul style="list-style-type: none"> 自宅で医療サービスを受けられて支払いも自宅で行える 高齢者が活躍できる社会 社会保障費の負担が抑えられ余裕のある生活ができる 介護施設の整備 空き家・空き地活用による余暇趣味のための市民農園
【D】街の魅力や居心地	<ul style="list-style-type: none"> 都心が近いという地の利を活かすために東京にはないものに注力する 人口増加に向けた住まいの受け皿 コンパクトシティ、都市機能の集約 広く整備された歩道 市内にある緑地を活かし、都心に近い緑のある快適な街をつくる

ワーク④ ベースシナリオを元にしたニーズの検討

7班

切り口	ニーズ
【E】地域経済・働き方	<ul style="list-style-type: none"> 最新技術の導入を補助 社会をコンパクトに、今の規模から減らして縮む 空き家でウィークリーレント(ノマド的生活)に対応 松戸の農産物のPR 職場には大事なときだけ来て、簡単なものは在宅ワーク 元気な高齢者の働き口
【F】安心・安全・快適な暮らし	<ul style="list-style-type: none"> 自転車専用車線を作ってほしい 外国人向け避難の案内 最新技術を用いた防犯を早く導入することで防犯のイメージアップ 外国人高齢者増に対応する災害対応

ワーク⑤ 2030年の取り組み

7班

切り口	取り組み
【A】人にやさしいまち・共生社会・持続可能性	<ul style="list-style-type: none"> 外国人が増えるので個々で英語を勉強する 中高生に外国人との交流を増やし慣れさせる 公共施設、交通機関等の多言語化を進める 働くための日本語講座やマナー啓発を行う 子どもの頃から外国語教育を充実する 外国文化との交流機会を設ける 外国の文化や人について知る機会をつくり、子どもも大人も外国人と交流する機会をつくる 近所や同じ地域に住む人同士で外国人との交流イベントを行う
【B】子育て・教育・文化	<ul style="list-style-type: none"> テレワークへの対応のため、通信環境の強化 子育てや介護をしつつ働きやすい環境づくり、働き方改革 時短・テレワークなど、ライフスタイルに合わせて選択できる働き方
【C】いきいきとした暮らし	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者と交流して関わる企画を通して高齢者を知り、高齢者の活躍につなげる コンビニ、ショッピングセンターなど、高齢者を雇用できる場所を増やす いつまでも働けるように健康寿命をより延ばす取り組み シルバー人材センターを拡充して高齢者の働き口を確保する ワークシェアの推進により、高齢者にも労働の機会を提供するとともに、現役世代にも時間的余裕を持たせる

ワーク⑤ 2030年の取り組み

7班

切り口	取り組み
【D】街の魅力や居心地	<ul style="list-style-type: none">・ モデル的に空き家を使った事業を行い、PRする活動をする・ コンパクトシティ化を実行するための候補地選びをする・ 階段をすべてエスカレーターにする・ さまざまなスタイルに対応できる住居を作る・ 人口増加のために市のPRを進める・ 松戸の強みを検討しておく・ 緑を残すため、無駄に開発しない・ まちづくりの予算を充実し、広い歩道、バリアフリー化、自転車専用レーンなどを整備する
【E】地域経済・働き方	<ul style="list-style-type: none">・ 介護施設新規設置者への補助制度を検討する・ 最新技術の導入に補助をする・ 業務を整理し、分担を検討することで在宅ワークを推進する・ ワークシェアなどの新しい仕組みを使ってみんなで一斉に仕事量を減らす
【F】安全・安心・快適な暮らし	<ul style="list-style-type: none">・ 外国人や高齢者に対する見守りを強化する・ 外国人や高齢者に防災啓発を行う・ 外国人と一緒に防災訓練を行う

ワーク① ベースシナリオについての対話

8班

- ▶ 生涯未婚率が男性28%、女性18.5%となっているため、今後少子化がさらに進むか？
- ▶ 生涯未婚率は自ら選んだ人と希望がかなわない人を分けて考える
- ▶ 単独世帯が2000万世帯(世帯数全体の37.9%)3世帯に1世帯強となることで個食が増加する
- ▶ 2030年に男性82.4歳女性88.8歳まで平均寿命がさらに上がる
- ▶ SDGsは本当にすべての国が参加するのか
- ▶ SDGsの次の目標はつくれるのか？
- ▶ 再生可能エネルギーの導入目標をもっと高められると良い
- ▶ 多様性を認めあって包摂性を大事に
- ▶ 税収を増やすためにはどのようにすれば良いのか？
- ▶ 自動運転がどこまで進むか？
- ▶ AI進んでもアナログは残る
- ▶ 新しい仕事に対応できる人材を育てる
- ▶ 介護の負担を技術の進歩でどのように補うのか？
- ▶ 老老介護やダブルケアによって離職はしたくないと考えている人がいる

ワーク② ベースシナリオの松戸市への影響

8班

	チャンス	リスク
【A】人にやさしいまち・共生社会・持続可能性	<ul style="list-style-type: none"> 健康寿命が延伸する 外国人にとって住みやすいコミュニティさえ作れば外国人が増加する 高齢化対応でバリアフリーが進む 市民活動が活発化する 国際交流によって多様性が高い魅力が生まれる 外国人が増えて国際交流が盛んになる 国際交流でお互いの理解が深まる 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢化が進み市民の税負担が増える 男女共同参画を推進することになじまない人がいる 外国人労働者が増えてコミュニティが分断される 外国人増で治安が悪くなるのではないかと心配 多文化社会で生活の違いから住民の衝突が増える
【B】子育て・教育・文化	<ul style="list-style-type: none"> 外国人タウンができ、外国人が住みやすい環境が整う 先生1人に対して子どもの数が減るので、子どもひとり当たりの学習が充実して質が向上する 外国の文化に触れて興味を持てる 	<ul style="list-style-type: none"> 習慣の違いで文化的背景の異なる人に家が貸せない事案が生まれる 外国人の親が増えて周りとのコミュニケーションが取りにくい 小規模保育園が増えて、公園が足りなくなる、乳児の遊具がない

ワーク② ベースシナリオの松戸市への影響

8班

	チャンス	リスク
【C】いきいきとした暮らし	<ul style="list-style-type: none"> 新市庁舎の建設で縦割りな組織がワンストップ窓口などで変化する お年寄りが楽しめるものが生まれて住みたい街になる 子どもの世話を焼く人材が多くなる 介護施設が増えてビジネスチャンスが広がる 町医者が増える ヘルスケア分野でウェアラブル端末などIT機器を活用した健康管理が進む 病院が多い医療都市 高齢化対応によってユニバーサルデザインが進む 元気な高齢者に働いてもらえる仕組みやまちづくり 自治コミュニティの再生の可能性が生まれる 高齢者向け健康サービスが増える 健康医療都市まつど 高齢化による介護職の需要増 	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者向け施設に入りにくくなって貧富の格差が広がる 高齢者の単独世帯が増える 外国人が高齢化する 支援慣れが生じて支援されることが当然と捉えるようになる 多文化共生の一方で文化の違いによる生活習慣の変化を迫られる

ワーク② ベースシナリオの松戸市への影響

8班

	チャンス	リスク
【D】街の魅力や居心地	<ul style="list-style-type: none"> ・ インフラが老朽化して不要な公共インフラを手放すチャンスになる ・ 図書館、公園など公共の施設をおしゃれに居心地良くと、話題になり人が集まり魅力的に ・ 都心に近い ・ ラーメンの有名店が多い ・ コスプレできる街 ・ ユニバーサルデザインで住みやすくなる ・ 外国人から魅力が発信される 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 空き家が増える ・ 自動運転を進めるには道路の整備等で他市より遅れをとりそう
【E】地域経済・働き方	<ul style="list-style-type: none"> ・ テレワークなど働き方が変わる ・ 個人や小規模なクリエイターが支援されるようになる ・ 高齢者が活躍する ・ 大病院が多いので今後も充実した小児医療が受けられる ・ 外国人が増えて多様な店や企業が増える ・ 遊休農地の活用により定年後の働き方が多様になる ・ 企業誘致できる土地がある 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 共働きが増えて地域にお金が落ちない ・ 保育所が不足して女性の社会進出が進まない ・ 定年延長で働き続けなくてはいけない
【F】安全・安心・快適な暮らし	<ul style="list-style-type: none"> ・ 再生エネルギー利用の増加 	

ワーク④ ベースシナリオを元にしたニーズの検討

8班

切り口	ニーズ
【A】人にやさしいまち・共生社会・持続可能性	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今ある老朽化したものを直すだけでなく魅力的なものに作り変える。図書館、健康公園、じゃぶじゃぶ池、ちびっこ遊具の公園 ・ 外国人の人々との共生 ・ 料理などをとおした外国人との文化交流
【B】子育て・教育・文化	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公園施設のリノベーション ・ 市内の外国人と友だちになれるきっかけづくり ・ 少子化に伴った教育の充実
【C】いきいきとした暮らし	<ul style="list-style-type: none"> ・ 市民活動が多だけでなく、分野を超えたマッチングが進んでいるのでさらに進める ・ ボランティア支援の多様化をするための企業やクラウドファンディングによる支援
【D】街の魅力や居心地	<ul style="list-style-type: none"> ・ 外国人にまちを好きになってもらう取り組み ・ クリエイティブな人材を育てる街
【E】地域経済・働き方	<ul style="list-style-type: none"> ・ 介護職の賃金アップや地位向上で若手人材を確保する ・ クリエイティブシティ！クリエイティブな人たちが集まる街になるような支援
【F】安心・安全・快適な暮らし	<ul style="list-style-type: none"> ・ 「環境推進都市まつど」として再生エネルギーの推進

ワーク⑤ 2030年の取り組み

8班

切り口	取り組み
【A】人にやさしいまち・共生社会・持続可能性	<ul style="list-style-type: none">・ ローカルSNSで、松戸市がオフィシャルに対応する・ ポケトークを市民に配り外国人と共生する・ 英語を学ぶ
【B】子育て・教育・文化	<ul style="list-style-type: none">・ プログラミングを教育し、プログラミングできる環境をつくる・ 成績等の教育に関するデータのビッグデータ化をする・ 子育て家庭とお手伝いしたい人とのマッチングアプリを作る
【C】いきいきとした暮らし	<ul style="list-style-type: none">・ バリアフリーの整備をする
【D】街の魅力や居心地	<ul style="list-style-type: none">・ プログラミングカフェを作り、世代を超えてプログラミングを通じたコミュニティにする・ 施設の老朽化に関して、市民のニーズを調査する
【E】地域経済・働き方	<ul style="list-style-type: none">・ 地域クラウドファンディングを立ち上げる
【F】安全・安心・快適な暮らし	<ul style="list-style-type: none">・ 太陽光発電などの身近な再生エネルギーを使う